



しあわせづくり 映画会 「生まれ来る子へ」



人権センター引田交流館と大内交流館では、毎月1回「しあわせづくり映画会」を行っています。みなさんの心が温かくなるような、そして日常生活が元気になるような作品を用意しています。皆さんお誘い合わせのうえ、ぜひおこしください。

日時 11月10日(木) 13:00~14:00
場所 人権センター大内交流館 (横内732番地 TEL25-4349)

日時 11月8日(火) 10:00~11:00
場所 人権センター引田交流館 (吉田495番地3 TEL33-7088)

大内交流館「文化のまつり」

大内交流館で「文化のまつり」を開催します。“芸術の秋”“食欲の秋”を満喫しながら多くの人と交流しましょう。みなさんお誘いあわせのうえおこしください。

- *開催日 11月5日(土) 10:00~14:30
- *開催場所 大内交流館
- *作品展示 市内全域の保・幼・認定こども園、小中児童生徒、市内並びにさぬき市の高校生、教養講座の作品展示、市民の皆さんの作品展示をします。
- *ステージ発表 講座生等の発表会及び小中学生による人権作文の発表会 (10:00~12:00)
桂 七福さんによる人権講座「気づけば高まる人権意識」(13:00~14:20)
- *子どもから大人まで楽しめるワークショップやゲームコーナー、食のパザールもあります。

【問合せ】 大内交流館 TEL25-4349



配偶者やパートナーからの暴力で悩んでいませんか?

11月12日~25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間
11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」

暴力には、身体的暴力に限らず、精神的・性的暴力も含まれます。親密な関係にあっても、暴力は決して許されません! 配偶者やパートナーからの暴力は、犯罪となる行為などを含む重大な人権侵害です。

また、子どもの目の前でドメスティック・バイオレンス(DV)を行うことは子どもへの心理的虐待にあたります。

あなたと一緒に考えます。一人で悩まず、ご相談ください。



—女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク—
このシンボルマークは、女性が腕をクロスさせた姿を描いており、女性の表情、握り締めたこぶし、クロスさせた腕により、女性に対する暴力を断固として拒絶する強い意志を表しています。

【相談窓口】 総務部人権推進課 TEL26-1227
市家庭児童相談室 TEL25-7830
県子ども女性相談センター TEL087-835-3211
人権推進課 TEL26-1227

【問合せ】 人権推進課 TEL26-1227

全国一斉 「女性の人権ホットライン」強化週間

「女性の人権ホットライン」は、女性をめぐるさまざまな人権問題についての相談を受ける専用電話です。相談は無料、秘密は厳守しますのでお気軽にご相談ください。

TEL 0570-070-810 (全国共通・ナビダイヤル)
11月14日(月)~20日(日)
(月~金) 8:30~19:00 (土・日) 10:00~17:00

【相談員】 人権擁護委員 高松法務局職員
【問合せ】 高松法務局人権擁護部 TEL087-815-5311

江戸時代の初めごろ、寛文5年(1665)に高松藩初代藩主松平頼重が定めた36条からなる「讃州大内郡白鳥宮之法令」の一つに「神前、馬場先、石の鳥居の左右、海道東西三〇間並びに下の道筋は、東方門前町の外、西方宮林の外、黒木の鳥居より下馬いたすべき事」とあり、この頃には境内の石鳥居だけでなく、門前町の東端と宮林の西端にも鳥居があったことがわかります。この鳥居は、白鳥神社の朱印地の範囲を示すために出入り口となる道に建てられたものでしょう。



第59回

白鳥神社門前町の象徴 「赤鳥居さん」

この記事をごらんになるのは、10月の秋祭りが済んだころでしょう。各地で秋祭りが行われましたが、中でも白鳥神社の秋祭りは、江戸時代末期の嘉永6年(1853)に編さんされた『讃岐国名勝図会』で「四月の市立、九月の神事毎に戯場ありて、近村はいふもさらなり、他邦より参詣の人多くて繁栄の地なり」とあり、東讃でも大変にぎやかなお祭りとして知られていました。白鳥神社には、幕府から保障された朱印地と呼ばれる年貢や課役が免除された社領があったことは知られています。

現在、新町の赤鳥居(安政4年・1857)、伊座新池堤防の鳥居(安政3年)、白鳥久詰池堤防の鳥居(万延元年・1860)、湊上所の鳥居(安政3年)、芝居町の黒木の鳥居(平成8年)が残っています。特に赤鳥居は「赤鳥居さん」と親しまれ、白鳥本町を代表するランドマークとなっています。この鳥居は、安政4年(1857)に白鳥神社の北廻廊(絵馬堂)を新築した時にいっしょに建てられたといわれています。その後、昭和4年(1929)ごろ腐朽したため撤去されましたが、同15年に再建され、平成3年と27年に補修されました。鳥居には建てられた年代や寄付者などが彫られることが多いので、その神社や地域の歴史を知る手がかりの一つとなります。秋祭りは過ぎましたが、参拝した時にじっくりご覧になってはいかがでしょうか。



▲ 大正時代の赤鳥居